

不思議7 再建その5

本殿には御神体があります。仏教でいえば御本尊に当たります。井上内親王が座っているお姿で、平安時代末期の製作と推定されています。時代的にはやはり仏教様式で製作されたように感じます。

御神体の前には全身が赤い狛犬が一对、井上内親王をお守りしています。赤は魔除けを意味するといわれますから、邪悪なものから護り清浄な空間をつくりだしているのだらうと思います。

鏡も掛けられています。藤原光長の名前があります。この人のことの詳細は不明で、江戸時代中～後期の鏡師であろうとしか分かっていません。

屋根は檜皮葺で、もう耐用年数をはるかに過ぎて雨漏りが起きています。県の文化財課では、今年の秋から改修工事をはじめるとなっています。本殿の中のものをすべて出すこととなりますので、この機会を捉えて博物館で展示したいなあと考えています。御神体は不可ですけどね。さて、どんなものが出てくるのでしょうか。